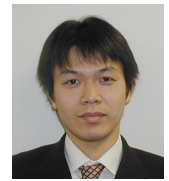


河川を活かしたまちづくり

～ホームページ開設とメールマガジン発刊～

研究第一部 研究員 瀧 健太郎



1. ホームページの開設とメールマガジンの発刊

河川は、水と緑の潤いあるオープンスペースとして都市内の貴重な自然空間です。そして、この空間は、様々なアイデアにより工夫することによって、沿川市街地と一体となり、まちに賑わいや活気を創出し、人々の暮らしに豊かさをもたらします。

近年、地域住民の主体的な活動や河川管理者、まちづくりに携わる地方自治体の積極的な取り組みにより、河川空間を活用した効果的なまちづくりやまちおこしが、各地で展開されています。そして、これらのまちづくりは、これからまちづくりに取り組んでいこうとする地域やもう一工夫したいと考えている地域にとって非常に参考となるものと考えます。

今年度、河川空間をまちづくりに活用している事例、動向などを、まちづくりに携わる多くの人々に情報を提供し認識してもらう方策の1つとして、ホームページの開設及びメールマガジンの発行を行うこととしました。

このホームページおよびメールマガジンは、河川整備とまちづくりに関わる実務者向けの情報提供を目的としていますが、河川とまちづくりに興味のある一般の方々にも、幅広くご覧いただけるよう、充実を図っていききたいと考えています。

2. ホームページの概要



トップページ (案)

このホームページは、かわづくり、まちづくりに関係する方はもとより、興味の有るの方々にも読んでいただき、河川とまちの一体的な整備推進、河川空間を活用したまちづくりを促進することを目的としています。

ここでは、河川を活かしたまちづくりに関するイ

ベントを紹介したり、全国各地での取り組みをご紹介したりする予定です。

あわせて、このホームページでは、河川を活かしたまちづくりを進めるために、利用できる制度や仕組みを紹介します。

例えば、ふるさとの川整備事業、桜づつみ事業、マイタウン・マイリバー整備事業、都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る河川敷地占用許可準則の特例措置、河川敷地の包括占用許可（河川敷地占用許可準則第16）などについて、目的、制度の概要、事業主体、要件などをわかりやすく紹介しています。

これらの情報を提供することにより、これから「河川を活かしたまちづくり」を進めようとしている皆さまの取り組みを支援していきたいと考えています。

3. メールマガジンの概要

ホームページの開設あわせて、メールマガジンを発刊し、先進事例、新規制度の紹介等、様々な情報発信・収集を積極的に行っていきたいと考えています。

官公庁の河川部局・都市部局、学識経験者などを中心にメールマガジンを配布する予定です。メールマガジンの購読は、ホームページから申し込みができます。「河川を活かしたまちづくり」に関わる取り組みの広がりとともに、メールマガジンの購読者が増え、さらなる「河川を活かしたまちづくり」の広がりへと繋がっていくことを期待しています。

4. おわりに

今回紹介しました河川を活かした街づくりに関するホームページおよびメールマガジンは、皆様から提供される情報により成り立っていきます。皆様からのご意見をいただくことにより、よりよいものに充実させていきたいと考えています。また、ホームページ開設およびメールマガジン発刊にあたり、国土交通省河川局治水課、北陸地方整備局の皆さまのご指導のもと、関係する地方自治体の方々、各地域で活動されている各種団体の方々などから多数のご助言・ご協力をいただきました。ここにあらためて心よりお礼申し上げます。

河川を活かしたまちづくりホームページ
<http://www.rfc.or.jp/kawa-machi/> (予定)

※平成17年8月現在、ホームページ・メールマガジンとも準備作業中です